

七区小学校出前授業

令和6年10月11日(金)午前8:50から岡山市南区の児島湖流域にある揚排水機場及び干拓堤防跡地、児島湾締切堤防で行われた、児島湾七区土地改良区主催の七区小学校出前授業に39名(うち会員6名)参加しました。

児島湾七区土地改良区は、21世紀土地改良区創造運動の一環として、毎年、岡山市立七区小学校の児童を対象に土地改良施設見学会を開催しており、当支部は、干拓の歴史や目的また工事の方法、ポンプのしくみ、児島湖の誕生についてパネル等で紹介しました。

七区小学校は、農林省が実施し昭和38年に竣工した児島湾七区干拓地内に位置しており、干拓地は岡山市中心部からも近いことから、混住化が進み、七区小学校の在校生は非農家家庭の児童がほとんどです。

児童たちは、自分たちが住んでいる場所が昔は海だったことに驚き、また、土地が海面より低いため排水ポンプの運転が必要であることを理解し、これらの施設を土地改良区の人たちが昼夜管理していることを学びました。



揚排水機場を見学



干拓堤防跡地を見学



熱心に聞き入る児童



参加したNPO会員